

近隣府県における周産期医療体制整備状況

		三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	徳島県	奈良県 (現状)	奈良県 (H20年5月)
療センター	総合周産期母子医療センター									
	病院数	1	1	1	4	1	1	1	0	1
	N I C Uの整備病床合計数	9	9	9	69	15	9	6	0	21
	N I C Uの後方病床合計数	21	21	17	91	35	11	12	0	10
	M F I C Uの整備病床合計数	6	6	9	30	7	6	3	0	6
M F I C Uの後方病床合計数	21	12	6	153	23	19	8	0	12	
療センター	地域周産期母子医療センター									
	病院数	4	2	18	0	9	1	0	0	0
	N I C Uの整備病床合計数	23	0	110	0	80	6	0	0	0
	N I C Uの後方病床合計数	30	0	22	0	58	0	0	0	0
	M F I C Uの整備病床合計数	6	0	17	0	4	0	0	0	0
M F I C Uの後方病床合計数	15	0	24	0	16	0	0	0	0	
△参加病院	周産期医療情報システム参加病院									
	参加病院数(小児科)	5	12	19	28	10	5	2	5	5
	参加病院におけるNICUの病床合計数	32	15	119	201	95	39	6	40	40
	参加病院数(産婦人科)	5	10	19	43	10	5	2	5	5
参加病院におけるMFICUの病床合計数	12	6	26	34	11	16	3	4	7	
H18出生数		15,816	13,448	22,100	77,641	48,771	7,930	6,257	11,476	11,476
人口		1,832,672	1,357,591	2,601,322	8,640,236	5,504,338	1,030,942	805,743	1,412,450	1,412,450
人口1万人あたりNICU		0.175	0.110	0.457	0.233	0.173	0.378	0.074	0.283	0.283
人口1万人あたりMFICU		0.065	0.044	0.100	0.039	0.020	0.155	0.037	0.028	0.050

※ 近畿ブロック周産期医療広域連携検討会資料(平成18年12月調査)より

周産期医療情報システム参加病院の後方病床数についてはデータなし

未受診妊婦にかかる調査結果

資料 13

〈調査概要〉

対象機関：産科を有する県内11病院、18診療所、8助産所

調査内容：平成18年1月1日から12月31日に分娩を行った者の内、未受診妊婦数(分娩までにどの医療機関においても妊婦健診を受けたことのない妊婦)及び受診時の状況、胎児の状態

1. 未受診妊婦数について

総数(人)	(内訳)		
	病院	診療所	助産所
16	15	1	0
100.0%	93.8%	6.2%	0.0%

H18年の分娩件数11,531件の内、分娩まで1回も妊婦健診を受けたことのない妊婦は16名(0.14%)である。

2. 妊婦の年齢について

	15～19歳	20～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳以上	合計(人)
調査	2(12.5%)	1(6.2%)	4(25.0%)	6(37.5%)	3(18.8%)	16
H18年全出生	183(1.6%)	1,214(10.6%)	3,399(29.6%)	4,629(40.3%)	2,051(17.9%)	11,476

未受診妊婦の年齢は10代の割合が12.5%と、H18年の奈良県の出生数における母の年齢割合の1.6%と比べて約8倍と高い。

3. 分娩時の妊娠週数について(周産期:妊娠22週以降)

	22～36週	37～41週	42週以上	不詳	合計(人)
調査	3(18.8%)	6(37.5%)	1(6.2%)	6(37.5%)	16
H18年全出生	615(5.4%)	10,772(93.9%)	85(0.7%)	4(0.03%)	11,476

未受診妊婦の場合、36週以下の早産がH18年の奈良県の出生数の5.4%に比べて約3倍と高い。

4. 分娩経過について

異常あり	異常なし	合計(人)
11(68.7%)	5(31.3%)	16

約70%の分娩異常があった。

5. 未受診理由について

a. 経済的理由	b. 妊娠を知らなかった	c. 望まない妊娠	d. その他	e. 不詳	合計(件)
5(31.3%)	1(6.2%)	2(12.5%)	6(37.5%)	2(12.5%)	16

*その他
・忙しい(仕事、育児など)

未受診の理由としては経済的理由が多い。

6. 死産数

死産数(胎)
1(6.2%)

7. 児の体重について

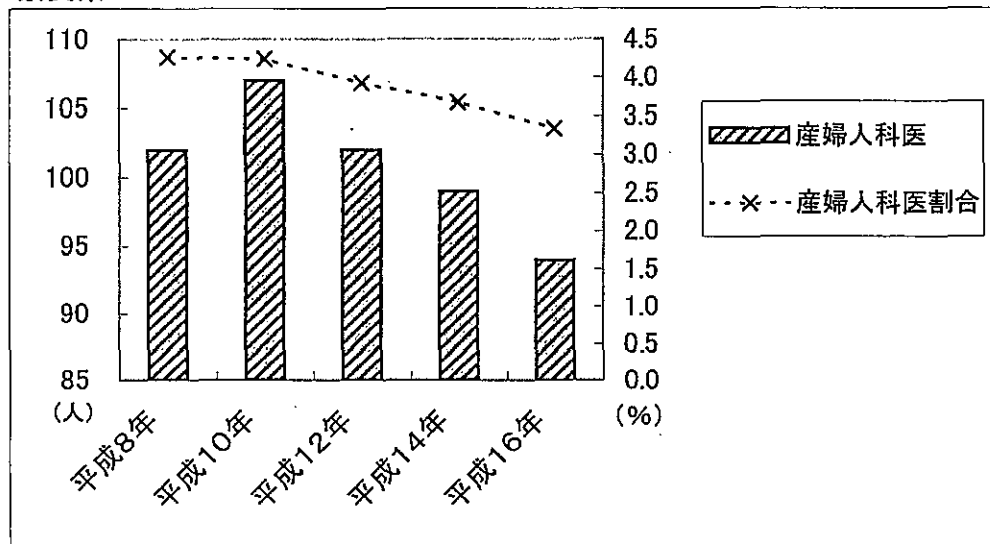
	～1,500g	～2,000g	～2,500g	～3,000g	3,000g～	不詳	合計(人)
調査	2(12.5%)	0(0.0%)	1(6.2%)	8(50.0%)	5(31.3%)	0(0%)	16
H18年全出生	80(0.7%)	139(1.2%)	891(7.8%)	4,468(38.9%)	5,897(51.4%)	1(0.01%)	11,476

低出生体重児(2,500g未満)が3人(18.7%)と多い。特に、極低出生体重児(1,500g未満)が2人(12.5%)と、H18年の奈良県の出生数(0.7%)と比べて約18倍と高い。

産婦人科医師状況(医療施設従事医師)

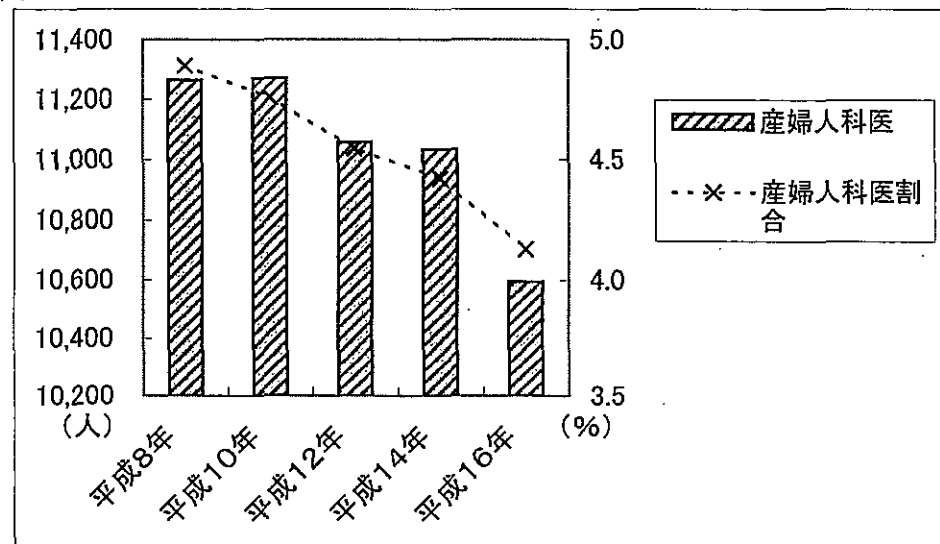
産婦人科医師数の推移

奈良県



	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	102	107	102	99	94
その他	2,286	2,414	2,497	2,600	2,721
計	2,388	2,521	2,599	2,699	2,815

全国



	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	11,264	11,269	11,059	11,034	10,594
その他	219,033	225,664	232,142	238,540	246,074
計	230,297	236,933	243,201	249,574	256,668

人口10万人当たりの産婦人科医師数

奈良県

	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	7.1	7.4	7.1	6.9	6.6
その他	158.8	166.8	173.0	180.8	190.1
計	165.9	174.2	180.1	187.7	196.7

全国

	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	8.9	8.9	8.7	8.7	8.3
その他	174.1	178.4	182.9	187.1	192.7
計	183.0	187.3	191.6	195.8	201.0

※医師・歯科医師・薬剤師数調査より(各年12月31日現在) 複数の診療科に従事している場合は、主として従事する診療科を計上
産婦人科医師数には、産科及び産婦人科医師の合計数を計上

奈良県内の分娩取扱医療機関一覧

医師、看護職員数：平成19年4月1日現在

	医療機関名	医療圏	平成18年分娩件数	産婦人科の状況				NICU病床数
				病床数	常勤医師数	助産師	看護師	
1	県立奈良病院	奈良	589	46	6	13	11	9
2	市立奈良病院	奈良	342	不定	3	10	15	
3	天理市立病院	東和	161	17	1	8	3	
4	天理よろづ相談所病院	東和	431	56	5	18	5	
5	済生会中和病院	東和	88	20	2	6	6	
6	桜井病院	東和	772	50	3	10	34	
7	奈良社会保険病院	西和	439	30	2	25	1	
8	近畿大学医学部奈良病院	西和	359	31	6	11	28	10
9	県立三室病院	西和	209	24	2	10	8	
10	県立医科大学附属病院	中和	540	70	13	14	44	21
11	大和高田市立病院	中和	1,036	40	3	14	11	
病院計			4,966	384	46	139	166	40
12	高山クリニック	奈良	非公表	9	1	4	6	
13	富雄産婦人科	奈良	"	18	2	5	13	
14	平野医院	奈良	"	17	2	2	17	
15	岡村産婦人科	奈良	"	9	2	6	8	
16	林産婦人科新大宮	奈良	"	9	1	3	5	
17	内藤医院	東和	"	7	2	0	7	
18	赤崎クリニック	東和	"	19	2	11	12	
19	久産婦人科	東和	"	18	2	2	6	
20	なんのレディースクリニック	西和	"	8	1	11	9	
21	杉江産婦人科	西和	"	9	1	0	6	
22	辻産婦人科	西和	"	14	2	3	10	
23	中野産婦人科	西和	"	14	1	2	11	
24	林産婦人科王寺	西和	"	15	1	3	4	
25	酒本産婦人科	中和	"	13	1	2	4	
26	藤田産婦人科	中和	"	9	1	1	12	
27	林産婦人科五位堂	中和	"	8	1	4	8	
28	さくらレディースクリニック	中和	"	18	2	8	7	
29	後藤医院	南和	"	19	1	0	0	
診療所計			6,412	233	26	67	145	
助産所計			8カ所	153	17	0	13	1
合計			11,531	634	72	219	312	

※18年の分娩件数には、現在分娩取扱いを休止している医療機関を含まず

休日・夜間用

**産婦人科
救急対応マニュアル**

1. 一次救急対応編
2. 病診連携、病病連携対応編
3. ハイリスク妊婦搬送コーディネーター編

2007年8月奈良県妊婦救急搬送事案調査委員会
マニュアル作業部会

はじめに

この対応マニュアルは、出産及び女性特有の疾患に対応する救急要請に際し、休日・夜間等に一番最適な診療科を受診するための一次救急に対応したものと、病院や診療所で診察をした結果、重症のため二次以上の医療機関に搬送する際に、スムーズな母体搬送を行うための病診・病病連携マニュアル、病診・病病連携のためのコーディネートをこなうハイリスク妊婦搬送コーディネーターマニュアルの3つの構成となっております。

それぞれの場面で有効にお使いいただき、県内の医療機関、消防機関のすべての救急業務にかかわる職員が情報共有できるものとなれば幸いです。

どうぞご活用ください。

県内分娩取扱病院及び診療所

平成19年9月1日現在

医療圏	医療機関名	住所	電話番号
奈良	県立奈良病院	奈良市平松 1-30-1	0742-46-6001
奈良	市立奈良病院	奈良市東紀寺町 1-50-1	0742-24-1251
東和	天理市立病院	天理市富堂町 300-11	0743-63-1821
東和	天理よろづ相談所病院	天理市三島町 200	0743-63-5611
東和	済生会中和病院	桜井市大字阿部 323	0744-43-5001
東和	桜井病院	桜井市桜井 973	0744-43-3541
西和	奈良社会保険病院	大和郡山市朝日町 1-62	0743-53-1111
西和	近畿大学医学部奈良病院	生駒市乙田町 1248-1	0743-77-0880
西和	県立三室病院	生駒郡三郷町三室 1-14-16	0745-32-0505
中和	県立医科大学附属病院	橿原市四条町 840	0744-22-3051
中和	大和高田市立病院	大和高田市磯野北町 1-1	0745-53-2901
	病院計	11 箇所	
奈良	高山クリニック	奈良市柏木町 190-5	0742-35-3611
奈良	富雄産婦人科	奈良市三松 4-878-1	0742-43-0381
奈良	平野医院	奈良市西大寺東町 2-1-52	0742-33-3338
奈良	岡村産婦人科	奈良市西木辻町 30	0742-23-3566
奈良	林産婦人科新大宮	奈良市芝辻町 2-10-15	0742-34-0322
東和	内藤医院	桜井市桜井 996	0744-42-2138
東和	赤崎クリニック	桜井市大字谷 111	0744-43-2468
東和	久産婦人科	磯城郡田原本町十六面 23-1	07443-3-3110
西和	なんのレディースクリニック	生駒郡斑鳩町興留 5-14-8	0745-75-5623
西和	杉江産婦人科	生駒市元町 1-11-3	0743-75-0123
西和	辻産婦人科	生駒市東生駒 1-61-1	0743-74-8951
西和	中野産婦人科	生駒市山崎新町 1-23	0743-75-0311
西和	林産婦人科登美ヶ丘	生駒市鹿畑町 55-1	0743-70-0339
西和	林産婦人科王寺	北葛城郡王寺町葛下 1-9-1	0745-73-3301
中和	酒本産婦人科	橿原市内膳町 4-4-26	0744-25-3389
中和	藤田産婦人科	香芝市逢坂 7-130	0745-78-4103
中和	林産婦人科五位堂	香芝市真美ヶ丘 1-13-27	0745-71-5201
中和	さくらレディースクリニック	橿原市上品寺町 528	0744-23-1199
南和	後藤医院	五條市本町 1-7-23	0747-22-2695
	診療所計	19 箇所	

1. 一次救急編

このマニュアルは、休日・夜間等に救急要請や受診要請があった際に、産婦人科の受診が必要か、その他の診療科の受診が必要かの判断をするための、目安となるためのチェックリストとして作成いたしました。

このマニュアルは救急隊が患者と直接の電話対応に使用したり、医事受付担当者や守衛等が休日・夜間等に受付を行なう際に最低限必要な情報を確認し、診療科の判断が出来るように作成しています。

実際は医事受付担当者等が患者との対応を行なう例もありますが、本来患者との電話対応は医師、看護師が行なうことが望ましいのはいうまでもないため、医事受付担当者等は医師、看護師等との連絡を密に取った上で対応に当たるよう努めてください。

なお、マニュアルの使用前に一般救急として必要な項目の聞き取り等は、別に行なってください。その結果、産婦人科受診が必要と認められた場合にご使用いただきますようお願いいたします。

また、このマニュアルにかかわらず、緊急度が高い際にはそれぞれ関係者の判断により対応いただきますようお願いいたします。

基本的な症状からみた連絡先

妊 娠	症 状	かかりつけ医	連絡先
あ り	下腹部痛 性器出血 帯下 外陰部痛 外陰部掻痒感 外陰部外傷 等	あり	かかりつけ医
		なし	一次輪番 (産婦人科)
		あるが受診不可	一次輪番 (産婦人科)
	感冒 嘔吐 下痢 便秘 上腹部痛 等	あり	かかりつけ医
		なし	一次輪番 (産婦人科)
		あるが受診不可	一次輪番 (産婦人科)
	眼科疾患 耳鼻咽喉科疾患 皮膚科疾患 歯科疾患	あり	かかりつけ医
		なし	専門診療科
		あるが受診不可	専門診療科
な し ・ 不 明	不正出血 外陰部痛 外陰部掻痒感 帯下 月経時痛 緊急避妊 レイプ等	あり	かかりつけ医
		なし	一次輪番 (産婦人科)
		あるが受診不可	一次輪番 (産婦人科)
	下腹部痛	あり	かかりつけ医
	なし	休日・夜間診療所等	
	あるが受診不可	休日・夜間診療所等	

※ 二次以上と判断した場合、ハイリスク妊婦搬送コーディネーターにお問い合わせください
 ※ 一次輪番病院等が、分娩中等によりやむを得ず受入できない場合は、ハイリスク妊婦搬送コーディネーターにお問い合わせください

救急隊用様式

受付日時	月	日	時	分
------	---	---	---	---

産婦人科一次救急チェックリスト

名前 _____ S・H _____ 年 _____ 月 _____ 日生 _____ 才

住所 _____ 連絡先 _____

かかりつけ医の有無 (あり 無 帰省・旅行中)

「あり」または「帰省旅行中」の場合かかりつけ医を欄外に記載してください

→ **かかりつけ医がある場合かかりつけ医に連絡してください**

意識レベル (清明 ぼんやり なし) 血圧 (_____ ~ _____ mm/Hg)

心拍数 (_____) 動脈血酸素飽和度<SPO₂> (_____ %) 体温 (_____ ℃)

主訴 (症状)	下腹部痛	()
	性器出血	() おりもの ()
	月経の異常	過 多 () ・ 痛み () ・ 遅れ ()
	外陰部の異常	かゆみ () ・ 痛み () ・ 外傷 ()
	その他	(_____)
	妊娠の有無:	なし () ・ あり () ・ 不明 ()
	妊娠ありの場合	妊娠週数 _____ 週 _____ 日 _____ ヵ月
		(分娩予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
	妊娠不明の場合	(最終月経 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
	出産経験	あり () ・ なし ()
	既往歴	(_____)

<p>その他自由記載欄 (アレルギー、投薬、破水、胎動、陣痛、感染症歴、血液型等気づいた点を記入してください)</p>

救急隊名	担当者	最終収容先
------	-----	-------

受付日時	月	日	時	分
------	---	---	---	---

産婦人科一次救急チェックリスト

名前 _____ S・H _____ 年 _____ 月 _____ 日生 _____ 才

住所 _____ 連絡先 _____

かかりつけ医の有無（あり 無 帰省・旅行中）

「あり」または「帰省旅行中」の場合かかりつけ医を欄外に記載してください

→ **かかりつけ医がある場合かかりつけ医に連絡してください**

意識レベル（清明 ぼんやり なし） 血圧（ _____ ~ _____ mm/Hg）

心拍数（ _____ ） 動脈血酸素飽和度<SP0₂>（ _____ %） 体温（ _____ ℃）

主訴（症状）	下腹部痛	（ ）
	性器出血	（ ） おりもの（ ）
	月経の異常	過 多（ ）・痛み（ ）・遅れ（ ）
	外陰部の異常	かゆみ（ ）・痛み（ ）・外傷（ ）
	その他	（ _____ ）
	妊娠の有無：	なし（ ）・あり（ ）・不明（ ）
	妊娠ありの場合	妊娠週数 _____ 週 _____ 日 _____ カ月
		（分娩予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日）
	妊娠不明の場合	（最終月経 _____ 年 _____ 月 _____ 日）
	出産経験	あり（ ）・なし（ ）
	既往歴	（ _____ ）

<p>その他自由記載欄 （アレルギー、投薬、破水、胎動、陣痛、感染症歴、血液型等気づいた点を記入してください）</p>
--

医療機関	担当者	受入・不可(理由)
------	-----	-----------

2. 病診連携・病病連携対応編

このマニュアルは、休日・夜間等等に、かかりつけ患者や一次救急患者の容態が急変した際に、当該医療機関で処置できずに二次以上の医療機関に対し搬送を行なう際に利用してください。

なお、新生児の搬送につきましては、しばらくの間このマニュアルを使用しないため、従来どおり県立医科大学附属病院又は、県立奈良病院に直接お問い合わせください。

平日昼間の場合

- ・ 平日午前8時30分～午後5時30分については、依頼元が直接二次以上の医療機関に、受入要請を行なってください。
- ・ 依頼元がハイリスク患者に紹介状を持参させ、二次以上の医療機関に直接外来受診させるのではなく、紹介が必要な際には、地域医療連携室等を活用ください。

休日・夜間等の場合

かかりつけ患者及び一次救急患者の容態が急変し、病院、診療所での対応が困難で、二次以上の医療機関に対し母体搬送を行なう場合は、下記の要領により処理を行なってください。

- ①母体搬送依頼を行なう医療機関は、県立医科大学附属病院（以下「県立医大」という。）内の、ハイリスク妊婦搬送コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）に母体搬送依頼の電話連絡を行なう。
- ②母体搬送依頼を行なう医療機関は、コーディネーターに奈良県周産期システム母体搬送紹介用紙（以下「紹介用紙」という。）に記載の項目に従い、患者の状況を報告する。
- ③コーディネーターは、県内の二次以上の医療機関に対し受入要請を行なう。
- ④コーディネーターは、県内で受入先が見つからない場合、他府県の周産期情報システムを利用し県外の医療機関に対し受入要請を行なう。
- ⑤受入先決定後
母体搬送依頼を行なう医療機関は、必要事項を、紹介用紙に記入の上、担当医師に紹介用紙を渡す。

※ かかりつけ患者及び一次救急患者の容態が急変する以外の事情（平日昼間に対応できる症例）での、二次以上の医療機関への母体搬送は、本システムの趣旨ではありません。

3. コーディネーター対応編

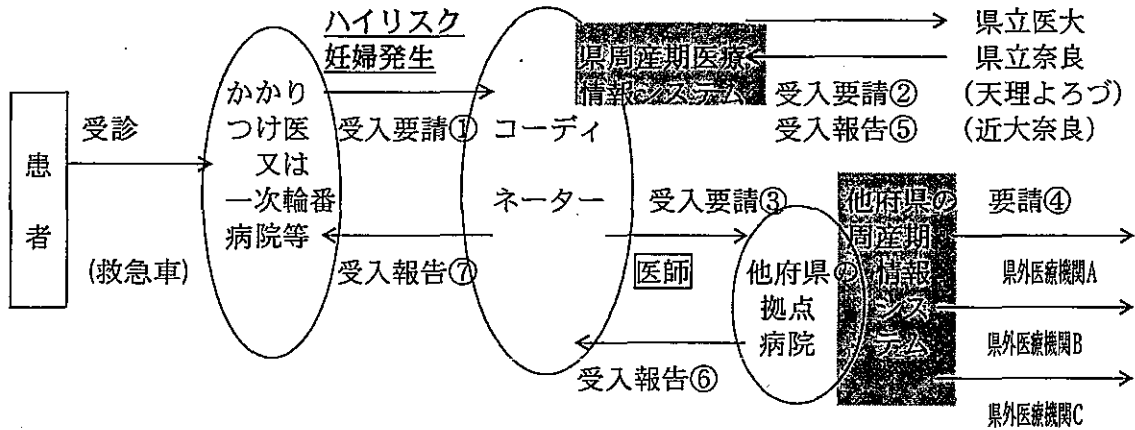
このマニュアルは、ハイリスク妊婦搬送コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）が業務を行なう際に、医療機関との対応を簡単にまとめたものです。コーディネーターの対応時間は、平日午後5時30分～翌日午前8時30分及び土・日曜、休祝日、年末年始の午前8時30分～翌日午前8時30分です。それ以外の時間帯は県内の二次以上の医療機関に直接お問い合わせください。

1. コーディネーターのかかわり方

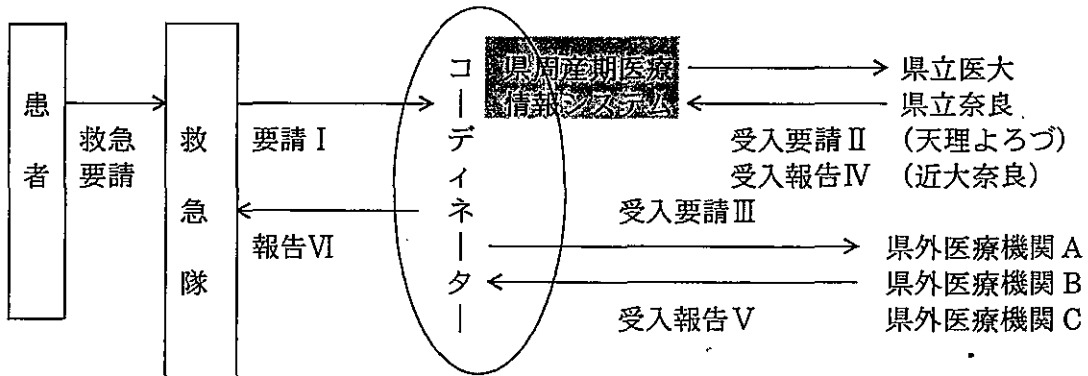
- ①一次医療機関（夜間救急を含む）で診察後、ハイリスクのため高次医療機関への搬送が必要になった場合、一次医療機関医師から搬送先検索依頼をコーディネーターが受ける。
→二次以上の医療機関受入先をコーディネーターが探す
- ②救急搬送患者が発生し救急隊が二次医療機関に搬送する必要があると判断した場合、救急隊から搬送先検索依頼をコーディネーターが受ける。
→二次以上の医療機関受入先をコーディネーターが探す
- ③一次輪番病院等が分娩中等により受入ができない場合、原則として一次輪番病院等医師から搬送先検索依頼をコーディネーターが受ける。
なお、上記の場合で、当該病院医師がコーディネーターと直接連絡できない場合、やむを得ず、救急隊から搬送先検索依頼を受ける。
→二次以上の医療機関受入先をコーディネーターが探す。

ハイリスク妊婦搬送コーディネーターの関連イメージ図

①医療機関からの母体搬送業務
(かかりつけ医又は一次輪番病院で受診した場合)



②救急隊からの母体搬送業務
(救急隊が二次以上と判断した場合又は一次輪番病院受診不可の場合)



※ 受入要請Ⅲを実施する際には迅速な検索のため、受入要請の一部を救急隊が担う。

2. コーディネーター業務

(1) 医療機関から母体搬送依頼があった場合

①各搬送形態により紹介用紙の内容を埋めていく

コーディネーターは、依頼元医療機関から、奈良県周産期母体搬送紹介用紙（以下「紹介用紙」という。）に記入する内容を電話で確認し内容を埋めていく。

なお、都合により電話での内容が聞き取りにくい場合については、紹介用紙をFAX送信するよう依頼する。

②県内医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、紹介用紙に必要事項を記載後、記載内容（症例）によっては、県立医大医師と協議し、電話により県内の二次以上の医療機関（県立医大、県立奈良、近大奈良、天理よろづ）に対し、受入要請を行なう。

また、受入を断られた際についても、断られた理由と、その後の受入可能性等を確認すること。

→受入機関決定→依頼医に直接受入先病院に電話連絡するよう指示

県内二次以上の医療機関における受入可能患者（夜間、休日等）

県立医大	：産科、婦人科患者
県立奈良	：産科、婦人科患者
近大奈良	：産科受入困難、婦人科患者受入困難
天理よろづ	：婦人科患者

③近隣府県の医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、県内の医療機関がすべて受入不可の場合、近隣府県の基幹病院に電話で状況確認を行なう。

(コーディネーターが医師でない場合は、医師に受入要請のための電話を依頼する。)

近隣府県の医療機関への確認中についても、随時、県内医療機関の受入可能状況の変化を確認すること。

→受入機関決定→依頼医に直接受入先病院に電話連絡するよう指示

④紹介用紙（入力用）の送付を依頼する。

コーディネーターは、受入先医療機関が決定した際、依頼元医療機関に対し、紹介用紙（入力用）の送付を依頼し、当該用紙の到着後、速やかに、その内容を周産期情報システムに入力する。

(2) 救急隊から母体搬送依頼があった場合

①産婦人科一次救急チェックリストの作成

コーディネーターは、救急隊からの要請があった際は、産婦人科一次救急チェックリストにより患者の状況を確認の上、チェックリストを埋めていく。

②県内医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、チェックリストに患者の状況を記載後、記載内容（症例）によっては、県立医大医師と協議し、電話により県内二次以上の医療機関（県立医大、県立奈良、近大奈良、天理よろづ ※事前に救急隊が救急要請し断られた機関を除く）に受け入れ要請を行なう。

また、受入を断られた際についても、断られた理由と、その後の受入可能性等を確認すること。

→受入機関決定→救急隊に受入病院に搬送するよう連絡

③近隣府県の医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、県内の医療機関がすべて受入不可の場合、近隣府県の受入可能医療機関の状況を該当地域の消防等に確認し、近隣府県の医療機関に対し、電話による受入要請を行なう。

コーディネーターは、迅速な受入可能病院の検索のため、救急隊に対し、電話による受入要請の一部を担うよう指示すること。

近隣府県の医療機関に確認中についても、随時、県内医療機関の受入可能状況の変化を確認すること。

なお、救急隊が受入要請を行なった際に、受入機関が決定した場合、救急隊は直ちに、コーディネーターに受入先決定の旨、連絡するよう指示すること。

→受入機関決定→救急隊に受入病院に搬送するよう連絡

3. 統計作成業務

コーディネーターは、受入要請に対応した後、速やかに、受入状況について奈良県周産期情報システムに受入状況、疾病等の必要項目を入力する。

4. 受入可能状況の確認

コーディネーターは、県内周産期医療機関に対し、勤務開始前に受入可能状況の確認を行なうものとし、その状況について、周産期情報システムに入力し、医大病院の救急受付や医師、看護師等連絡し情報共有に努めること。

5. 県立医大の受入状況の随時確認

コーディネーターは、県立医大内の受入状況については、医師、看護師等と連携することにより、リアルタイムに把握し、コーディネーター業務の際に直に対応できるように努めること。

6. 業務日誌の作成

コーディネーターは、当日のコーディネーター業務終了時に、業務状況を報告するため、業務日誌を作成する